

タイ講座 一知らないタイに出会おう

主催：早稲田大学校友会調布稲門会語ろうアースカフェ 協力：早稲田大学留学センター

「タイ」とはどんな国？日本人がすぐに思い浮かべるのは「微笑みの国」、「仏教の国」などです。

インドシナ半島の中央部に位置する「タイ」は、古くはインド文化圏と中国文化圏との交流を通し、15世紀以降は西欧諸国、冷戦時代以降は米軍の駐留に伴うアジア以外の様々な文化を受け入れることにより、独自の文化を形成していきました。



日本との繋がりも古く、14世紀にはアユタヤ日本人（ワットアルン/提供：タイ国際政府観光庁）町が生まれ、特に関ヶ原の戦い・大阪の役以降は日本人の傭兵隊が活躍し、政治的にも力を持つようになり、その最高権威者には官位が授けられました。山田長政はその一人です。同時に御朱印貿易によりアユタヤの日本人町は17世紀中頃まで栄えていました。

明治維新の頃、タイ王国も近代化に着手、列強の侵略から巧みな外交で国を守り、東南アジアで唯一独立を維持しました。まさにこの時期（1887年）、日タイ修好条約が締結されました。折しも今年の日タイ修好130周年目に当たります。本講座もタイムリーな企画となりました。

本講座では、多文化的な視点により、4回の講義で、「タイ」の基礎的な情報と共に、マスメディアが伝えない歴史的な側面から見た現在の「タイ」の魅力を探っていきます。皆さまのご参加を心待ちにしております。

（既講座：2013年ウズベキスタン、2014年ミャンマー、2015年スウェーデン、2016年エストニア）

<講座日程> *開場は開始30分前です。

第1回	2017/10/28(土) 14時 ~ 16時	「東南アジア大陸部のタイ」 —概要、地理、言語—
第2回	2017/11/25(土) 14時 ~ 16時	「インド・中国伝来の独自のタイ文化」 —歴史、文化—
第3回	2018/ 1/20(土) 14時 ~ 16時	「森・山・海/美しい自然を楽しめるタイの地方」 —自然、観光地、国内交通—
第4回	2018/ 2/10(土) 14時 ~ 16時	「アジア諸国の詰まったタイ料理の魅力」 —食文化—

場 所： 調布市文化会館たづくり 8階 映像シアター（定員100名）

講 師： ウィパーウィークン クリッタポン

費 用： 各回 1,000円（学生 無料）

<問合せ・申込み先> 山田和子（Tel/Fax）042-488-0741

（Email）kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp

（HP: <https://kataroearthcafe.jimdo.com> / Twitter@kataroearthcafe）

タイ講座 一知らないタイに出会おう

主催：早稲田大学校友会調布稲門会語ろうアースカフェ 協力：早稲田大学留学センター



—講師プロフィール—

ウィパーウィークン クリッタポン (Krittaphol Viphaveekul)

早稲田大学アジア太平洋研究科博士課程2年

タイ、バンコク出身

日本駐在：2005-07年、2010-2011年 / 早大入学：2016年

趣味：読書、サッカー、ジョギング、料理

皆様、はじめまして。

この度、講師をさせて頂く、タイから来ましたウィパーウィークン クリッタポンです。タイ人の名前はインドのサンスクリット語からの借用なので、東アジアの日本人になじみがないかもしれません。不思議なことは、タイにおいてもこんな長い名前を日常生活で使う機会も非常に少ないです。日々の生活上で我々タイ人はニックネームを使っています。私も「クン」というニックネームをつけていますので、お気軽に「クン」と呼んで下さい。

私は、タイの首都、バンコクで生まれ育ち、2005年にタイのチュラーロンコーン大学を卒業しました。その後、タイにある日系企業に入社し、同年に研修者として日本に初めて来ました。一年半くらい愛知県に滞在し、日本生活、日本語、日本的な社会のマナーを学びまして、2007年にタイに帰国、その後は、出張や長期滞在で日本とタイを行き来していました。このような背景で、日本文化に興味を持つようになりました。

2012年に人生の転機が起きました。タイで友人と小規模な出版社を立ち上げ、翻訳、通訳の仕事を始め、書籍出版の魅力に引きつけられました。そこで、自分の能力・知識をさらに向上させるため、7年間勤めた日系企業をやめて、タイのタマサート大学大学院に入学しました。2014年に一学期間、日本語教育研究科に交換留学することになり、そこで早稲田と初めて出会いました。2016年に早稲田大学アジア太平洋研究科に入学し、現在、東南アジア歴史の専門で戦後のタイにおける書籍出版産業の産業史というテーマで研究しています。

私が初めて日本と出会った2005年当時、現在のようにタイ人が日本のアニメや漫画に夢中、日本人はパクチーが大好きという、日・タイの文化交流が盛んな時代ではありませんでした。10年間にわたって、日・タイ文化交流が進展し、皆様は、マスメディアの報道を通して、何かしらタイに関する情報を聞いたことがあるでしょう。また、現在は、自分でインターネットで調べ、情報を手に入れられる時代となりました。

本講義では、歴史的な側面にに基づき、タイの文化、豊かな自然、魅力的な観光地はもちろん、マスメディアが伝えない、多文化的な視点からタイの魅力を紹介させていただきます。

皆様にお会いすることを楽しみにしております。



(水かけ祭 /提供：Manager.co.th)

(HP: <https://kataroearthcafe.jimdo.com> / Twitter@kataroearthcafe)